

鶴が丘だより

東京都町田市三輪緑山二丁目2133-1
 医療法人社団鶴水会鶴が丘ガーデンホスピタル
 院長 後藤 晶子
 電話 044(988)3121(代)

当院の現状について ～統計データより～

一日一日、徐々に春らしくなり、花々がほころびはじめました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月の鶴が丘だよりでは、毎年恒例となった当院の入退院に関する統計をご紹介します。

平成25年12月31日までのものと、平成26年3月31日のものに基づいて

1. 入院について

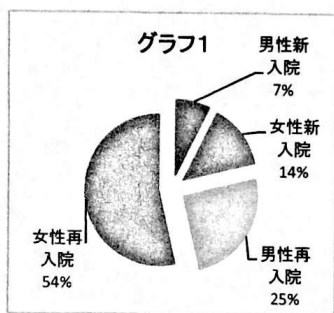


平成25年に当院に入院された方は319名でした。平成24年の入院数は319名でしたので、増加傾向です。早期治療の開始や休息目的での入院など、短期間で利用する方の増

加が一因です。

① 新入院・再入院について

グラフ1は当院に入院された方の新入院・再入院の割合と、その性別について表しています。その新入院とは、当院に限らず今までに精神科へ入院したことのない方の割合を指します。再入院とは、以前に精神科へ入院経験がある方の割合を指します。



入院者	
男性新入院	24
女性新入院	44
男性再入院	80
女性再入院	171
合計	319

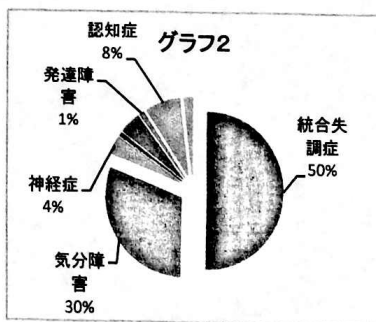
再入院が約8割を占めていることから、精神疾患の治療は、入院後も繰り返しながら徐々に安定させることが重要です。

② 病名別



グラフ2は、入院された方の病名別統計結果です。昨今の精神科医療情勢の変遷により、様々な精

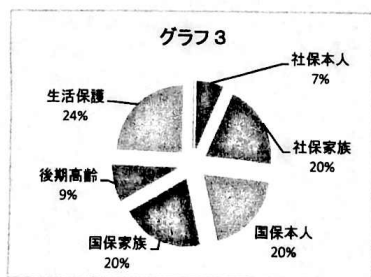
神疾患の方がご入院されることが伺えます。引き続き多くのニーズに応えるべく、対応と心がけてまいります。



疾患別	
統合失調症	161
気分障害	97
神経症	12
生理的な障害	2
行動の障害	14
発達障害	3
認知症	24
その他	6
合計	319

③ 保険費目別

グラフ3は、入院された方の健康保険の種別割合です。

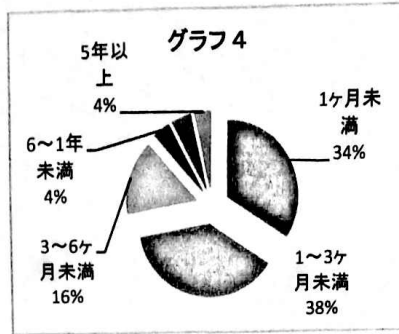


保険費目別	
社保 本人	21
社保 家族	64
国保 本人	63
国保 家族	65
後期高齢	28
生活保護	78
自費	0
合計	319

2. 退院について

平成25年に退院された方は319名で、入院された方と比例していま

約7割が3ヶ月以内に入院し、退院される方も増加しています。厚労省の指針で掲げられている5年以上の入院の増加は、同様に、労働者の短命化が、時に、強き、入院の短命化が、退院される方も増加しています。



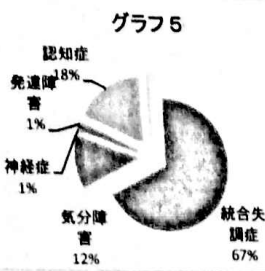
退院者	
1ヶ月未満	110
1~3ヶ月未満	122
3~6ヶ月未満	51
6~1年未満	12
1~5年未満	14
5年以上	12
合計	321

3. 在院中の方々

平成26年3月31日現在の入院患者様は、187名でした。

① 病名別

約6割が統合失調症の方で、次に認知症が約2割を占めています。

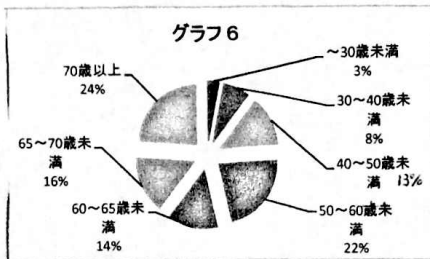


疾患別	
統合失調症	126
気分障害	23
神経症	1
生理的な障害	1
行動の障害	0
発達障害	1
認知症	34
その他	1
合計	187

② 年齢別

当院の特色である精神科急性期治療と認知症治療を象徴していると考えられます。

社会の高齢化に伴い、70歳以上の方が増えていますが、青年期（30代から60代前半）の方の入院も多くなり、様々な年齢層の方々が入院されています。



年齢別	
~30歳未満	6
30~40歳未満	14
40~50歳未満	25
50~60歳未満	42
60~65歳未満	26
65~70歳未満	29
70歳以上	45
合計	187

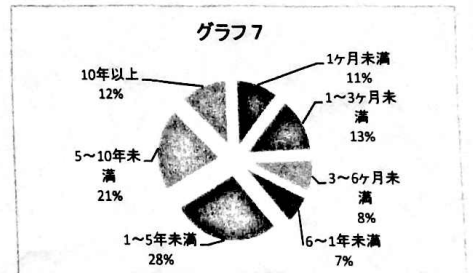
③ 在院期間別

当院に入院されている方の入院期間が長くなる傾向があります。約3割の方が入院期間が1年以上です。5年以上の入院期間の方が依然として約3割を占めています。退院支援を継続していただくために、社会全体の課題として取り組んでいます。

4. まとめ

今月は統計データから当院の現状をお伝えさせていただきました。

今年4月には、今後の精神科医療の在り方として、入院医療中心の精神医療から地域生活を支援するための精神医療の実現が提言されました。社会全体の動向を踏まえ、当院の「家庭的なケア」を軸に、地域に根付いた医療提供の充実を一層図ってまいります。



在院期間別	
1ヶ月未満	20
1~3ヶ月未満	25
3~6ヶ月未満	15
6~1年未満	13
1~5年未満	52
5~10年未満	39
10年以上	23
合計	187



黒板

家族教室・講演会のご案内

平成26年度に変わる

保護者制度を学ぶ

4月19日 13:30

当院デイケア棟